

令和6年10月29日研究公開報告

令和5・6年度大隅地区研究協力校研究公開

大崎町立大崎小学校で

「国語科」についての研究公開 が開催されました。

令和6年10月29日(火)に、大崎町立大崎小学校にて、大隅地区研究協力校「国語科」の研究公開が行われました。大崎小学校では、研究主題・副題を「生き生きと学び、高め合う子供の育成～国語科で育むジリツした学習者の基盤～」と設定し、2年間の実践的な研究に取り組まれてきました。

当日は、「ジリツした学習者の基盤」を育むために、子供が自らの力で学習を進められるようにする手立てや、子供が学びの連続性や積み上げを実感できるようにする手立ての実際が、研究内容として示されました。学習の目的や方法等を見通すとともに、自らの学びの実感を自覚しながら、自信をもっていきいきと学ぶ児童の様子が見られました。



【閉会のあいさつ】
堀内 賢徳 校長先生

【研究発表】

研修係の阿瀬知教諭が、本研究において設定した二つの研究の視点に基づき、研究発表を行いました。

【研究の視点Ⅰ】

「学習プロセスの定着」に関する内容

学習過程にOECDで提唱されている学習プロセスである「A（見通し）A（取組）R（振り返り）サイクル」を取り入れ、児童が粘り強く自己調整を繰り返しながら学習を進められるようにしたこと

【研究の視点Ⅱ】

「『国語の道具』の定着」に関する内容

単元を通して身に付けさせたい力を「国語の道具」として明示し、国語科の学習を通して何を学ぶのかを児童が自覚できるようにしたこと

大崎小学校が抱える学習指導上の課題や現在求められている授業づくりの方向性等を基に、筋道を立てて説明がなされ、2年間の研究の意義や価値が伝わる素晴らしい研究発表となりました。



【研究発表の様子】

【授業研究】

授業研究では、研究の視点に基づいて協議が行われました。参加者からは、「子供たちが、身に付けた力を自覚し、自分の言葉で振り返りを記述している姿が印象的だった。」など、様々な意見が出され、有意義な時間となりました。



【授業研究の様子】

【公開授業：第1・3・5学年 国語科】

単元 せつめいする文しょうをよもう（1年「じどう車くらべ」）

1年生では、教師の適切な働きかけの下、既習単元で学習した「国語の道具」と、該当単元で新たに学んだ「国語の道具」とを関連付けながら、単元の言語活動や単元全体の学習への見通しをもつ様子が見られました。



【1年生の様子】

単元 れいの書かれ方に気をつけて読み、それを生かして書こう（3年「すがたをかえる大豆」「食べ物のみみつを教えます」）

3年生では、該当単元で学習した「国語の道具」を視点として振り返りをさせることで、単元全体の学びや身に付けた資質・能力を、一人一人の児童に自分の言葉で定着させることができるようになりました。



【3年生の様子】

単元 資料を用いた文章の効果を考え、それをいかにして書こう（5年「固有種が教えてくれること」「自然環境を守るために」）

5年生では、「単元内自由度学習」に取り組み、学習形態や解決方法等を自己選択・決定し、適切な資料選択の在り方について考えを深める様子が見られました。教師は、児童の学習進度に応じた的確な助言をしていました。



【5年生の様子】